

まらゆき

January

Vol. 132

【新年号】

- 2 新年の挨拶
- 2 受賞者紹介(秋の叙勲)
- 3 今年顔
- 4~6 支部メール(周南、山口、下関支部)
- 7 ひたむきな保健師Vol.22

- 8~9 ナースセンターだよりNO.116
- 10 医療安全情報NO.29
- 11 働き続けられる職場づくり推進事業
- 12 特集 パートナーシップ現場の声
- 13 特集 パートナーシップとは

- 13 Information
- 14 新「会員情報管理体制」について
- 15 平成28年度の入会について
- 16 ちょこっと自慢
- 16 表紙によせて
- 16 会員数・編集後記



「会場からも質問があり
活発な意見交換ができました。」

平成27年度山口県看護協会豊浦支部研修会

スキンケアについて
—脆弱な皮膚に対する対策—

平成27年10月10日
山口県済生会下関総合病院
皮膚・排泄ケア認定看護師
池田 千尋 先生

新年のご挨拶

会長 吉村 喜代子



新年あけまして、おめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様のご協力・ご理解によりまして、平成27年度会員数は、9,894名となり看護の専門団体に寄せる会員の方々や看護職者の期待の大きさに、看護協会の役割の重大さを改めて感じております。

さて、2025年問題である団塊の世代が後期高齢者となるいわゆる少子高齢化・多死社会の到来を見据えて、現在の医療提供体制が見直しされ「医療法」「保助看法」「看護職等人材確保定着法」の一部が改正されました。改正に伴い、昨年10月より「医療事故調査制度」や離職時における看護職のナースセンターへの届出制度が、施行となりました。

このように激動する社会情勢を踏まえながら看護協会は、看護職があらゆる場で、「自信」と「誇り」を持って「予防し、治し、支える医療・看護」の提供を目指していけるよう、新しく創設された事業を展開しながら、山口県の看護職の確保・定着や質の高い看護の提供につなげて参りたいと思います。激動する今を、看護における「チャンス」として捉え、看護の未来に向けて、「個人として組織としてどうあればよいのか」皆さまと共に知恵を出し合い取り組んで参ります。

今年は看護協会が公益法人に移行して、5年目となります。協会の使命である「人々の健康な生活の実現に寄与する」ことを具現化するために、さらに「看護の質の向上」「働き続けられる職場づくり」「看護領域の開発・展開」に力をいれ、より良い協会運営に取り組んで参ります。

この一年が皆様にとっても飛躍の年となりますことを祈念し、新年の挨拶といたします。



受賞者紹介

受賞おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます。

平成27年度 秋の叙勲

瑞宝双光章 松本万里子 (平生看護専門学校 副学校長))

瑞宝単光章 三井 成子 (元・山口赤十字病院 看護部長)

今年の顔



「今年の抱負」

下関医療センター
森永 結香

小学生の頃から憧れだった看護師となり、早くも6ヶ月が経ちました。日々、患者様からのありがとうのお言葉や「看護師さん」と呼ばれることに喜びを感じております。

今年は、周囲の方々や患者様への感謝の気持ちを忘れず、信頼される看護師となれるよう努力し成長していきたいと思っております。



「2016年の抱負」

山口県済生会下関総合病院
出光 巧兒

この1年、患者と寄り添う看護をめざし、患者を尊重した看護を心がけてきました。

2年目の抱負として、患者が必要としていることは何かを考え、家族を含めた看護を目指していきます。患者から身近な存在として頼りにされ、支えとなれるよう、自己研鑽していきたいと思っております。



「新年を迎えて」

周南市立新南陽市民病院
中村 美穂

早いもので看護師として働き始めて14年が経ちました。14年間で病棟、透析室、手術室とさまざまな部署で勤務し、いろいろな経験をすることができました。今後も初心を忘れず、日々の学びを大切に努力していきたいと思っております。



「今後の抱負」

介護老人保健施設 アーコス
濱田 英治

高齢者看護に携わり20年が過ぎ、今年年男を迎えます。こうして看護が続けられたのも皆様方の支援によるもので深く感謝致します。社会情勢が刻々と変化する中、その人らしい生活支援が与えられるよう研鑽していく決意です。



「チャレンジャー」

長門総合病院
井上久美子

看護師になり3回目の年女を迎えました。申年生まれにぴったりの言葉は「チャレンジャー」だそうです。年を重ねても、私らしく「躊躇せず、楽しみながら何事にもチャレンジ!」の年にしていきたいと思っております。



「節目の年を迎えて」

山口県立萩看護学校
野崎 美紀

一生の仕事として選択した看護職、これまでの助産師や看護教員の経験で、一番の学びは、「人間の未知なる可能性」です。還暦を迎え、改めて、多くの人との出会いに感謝し、これからも自らが輝き続けられるように、「可能性」を信じて、看護の魅力を探求し続けたいと思っております。



「新年を迎えて」

光輝病院
稲田 ツヨ子

幼い時から看護師を志し念願の看護師になって、四十有余年、よく今日迄続けてこられたなどの感慨があります。ここまで続けてこられたのも、家族の協力と職場や周りの方々の支えあってのことと深く感謝しています。

看護の喜びは何にも替え難く、人と人との繋がり温かさが仕事へのエネルギーになっていると感じます。

申年生まれは常に新しいものを求めているそうです。新年を迎えて、今年は健康に過ごせることが第一で次には楽しみながら絵画に挑戦してみたいと思っております。

「平成27年度の支部活動」

周南支部

周南支部における平成27年度の活動をご紹介します。

平成27年7月4日に支部集会を開催しました。支部会員数1,522名の内、出席者107名、委任状提出者が1,200名でした。教育委員や職能委員の半数が任期を終え、新たなメンバーを迎えての活動の開始となりました。

まず、平成27年8月22日に教育委員会主催での研修会を開催しました。株式会社モンシェールの西村宏子先生をお迎えし「リフレクソロジーとアロマでセルフヒーリング」というテーマで行いました。講師から靴下が脱げる楽な服装で出席して下さいという要望があり、研修の中で自分の足を施術する実技もありました。参加者からは、「実際に施術を体験することができとても勉強になった」「今度は患者さんに快を与えるような施術をしたい」という感想をいただきました。看護師のみならず看護補助者の参加もあり、看護を提供する仲間としてポジティブフィードバックもあった研修となりました。

次に、職能委員会主催で平成27年10月4日に宇部フロンティア大学教授の高田晃先生をお迎えし「ハラスメントの理解と対応～ハラスメントの被害者・加害者にならないために～」というテーマで研修会を開催しました。様々なハラスメントがある中、今回はパワーハラスメントについてのご講話でした。日常生活を過ごす中、相手にハラスメントを受けたという感情を与えているかもしれないし、逆にハラスメントを受けているかもしれません。パワーハラスメントには身体的な攻撃と精神的な攻撃、人間関係からの切り離し、過大な(過小な)評価、個の侵害がありました。他者を指導していく時、それが指導の範囲なのかパワーハラスメントにあたるのか、業務上の適正な範囲を超えないような指導の在り方を学ぶことができました。

周南支部では、今後も幹事・教育委員・職能委員の皆さんと協働し、各種研修会の開催や、地域住民の健康管理に向けた「まちの保健室」の運営に取り組んでいきたいと思っています。



山口支部のこの半年

山口支部



<5月23日>平成27年度の活動は、**地域連携推進委員会企画研修**でスタートしました。昨年に引き続き、退院支援について学びたいと、宇都宮宏子先生に講師をお願いしました。「今年は昨年よりレベルアップさせた研修を企画するように」とのご指導!そこで、山口市内で活躍されているケアマネージャーと訪問看護師の2名の方にもシンポジストとして参加いただき、「その人らしく最期を迎えるために」「看取りを通した本人・家族との関係性」というテーマ

で150名の参加者とともに学びました。

<7月12日>**支部集会・支部交流会**を開催しました。支部集会には261名(全会員数の約18%)の方に参加していただきました。また、集会終了後「笑いヨガ～笑って今日も絶好調～」と題して笑いヨガ講習会を開催しました。笑いの大切さを実感しながらも、笑いを演じることができない自分に、改めて女優にはなれない…と感じました。



<10月3日>「**ハラスメントを起こさない、ハラスメントを受けない対策**」と題して、弁護士の林宏信先生に講演していただきました。「あってはならないハラスメント、してはならないハラスメント」しかし、身近に存在しています。だからこそ、まずは正しく理解することが重要だと学びました。講師は最後に、「職場に必要とされる人材になること、仕事への意欲と素直さが重要」と付け加えられました。

<10月19日>「ねりんピックおいでませ!山口2015」に、宇部支部・小野田支部、そしてわが山口支部が1日ずつリレーで「まちの保健室」を出展しました。山口支部は6名で参加し、糖尿病認定看護師と糖尿病療養指導士の2名が「足の健康相談」を担当し、支部役員4名は「肌年齢測定」「血管年齢測定」「血圧測定」を担当しました。午前10時から午後4時の終了まで、列は途切れることなく、**大入り満員「まちの保健室」**でした。3日間の来室者合計が1,900名と聞き、みなさんの頑張りから感謝しています。



海峡と歴史のまち下関 支部活動の紹介

下関支部

下関支部の平成27年度の会員数1503名(保健師60名、助産師54名、看護師1304名、准看護師85名)です。

7月10日に下関支部集会を開催し、出席者195名委任状1023名で、支部会員の皆様のご協力を頂き無事支部集会終了することができました。

また、今年度は、豊浦・下関支部で中学生・高校生を対象とした「看護フェア」を開催することになりました。豊浦・下関支部の役員でいろんなアイデアを出し合い準備をすすめてきました。当日は、会員の皆様のご支援・ご協力の基、「看護フェア」を開催することが出来ました。参加された学生さんから「看護の仕事を体験し、看護師になりたい気持ちが強くなった」「看護の大切さがよくわかった」などの感想を頂き、看護フェアを開催した私たちも看護の魅力をあらためて実感することができ、大盛況のうちに看護フェアを終了することが出来ました。



<手術室体験>



<手洗いチェック>

年間の支部の主な活動としては、会員の皆様のご支援の基、「まちの保健室」を下関シーモールとゆめシティの2会場で年10回開催しています。毎年たくさんの市民の方々に来場を頂き、市民の皆様の健康相談にも親身な対応を心掛けています。また、また毎年、下関市内で行なわれる体育大会や海響マラソン等のイベントに会員の皆様のご支援・ご協力のもと救護活動を行うことが出来ています。会員の皆様にお礼申し上げます。今年度も地域住民の皆様のニーズに応えるために、会員の皆様のご支援の基、支部活動を推進して参りたいと思います。宜しくお願い致します。



保健師から保健師へと技や心が伝えられ、受け継がれるネットワークづくりの一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し、応援するコーナーです!

今回は、上関町高齢者保健福祉センター所長 八木 静恵さんをご紹介します。



保健福祉課の皆さん。前中央が八木さんです。

人と人のつながりを大切に! ～色々な人と出会い・話し・つながろう!～

上関町高齢者保健福祉センター所長 八木 静恵さん

profil

家族構成：夫・お姑さん・愛犬（ハチ）

血液型：A B型

ストレス発散法：仕事以外の分野の人と出会うつながりを持ち、新たな発見に楽しさを感じています。

【朝鮮通信使研究会に入ったり、セミナーパーク主催の山口版観光ガイドブック作成・陶磁器作りなどに挑戦!!】

高校生のころから、人とつながりがある仕事がしたいと思い保健師になりました。産業保健師・教員を経験したのち地域の保健師になりたい!と行政保健師になり30数年。その間、語りきれないほど色々なことがありましたが、保健師は天職だ!!と思っています。保健師をしていなかったら、ただのおばさんでした・・・(笑)。

◆ 保健師としてどのようなことを大切にしてくださいましたか?

◇個から地域につなげていく視点を持つこと

以前参加した研修会で、「ただの話好き、ちょっと健康知識があるだけの保健師ではいけない」と言われたことが私の行政保健師としてのターニングポイントでした。

家庭訪問では、「地域で、その人らしく暮らせるように」という視点を大切にしながら関わり、またそこから地域にどのようにつなげていくかも考えながら関わるようにしています。

◇研修会や勉強会には積極的に参加すること

事業を展開していく中で、経験だけでは補えないこともあります。県内外の研修会や勉強会に参加して知識を得て、刺激を受けています。(家族には留守をすることが多く迷惑をかけてしまいましたが・・・)

◇色々なことに興味・好奇心を持つこと

専門職としてだけでなく、「人」としての感性も持てるように、好奇心を持ち続けることです。仕事や仕事以外の事など様々なことに興味を持ち常にアンテナを張るようにしています。

◆ 後輩に伝えたいことを聞かせてください。

☆研修会には積極的に参加して刺激を受けたり、新しいことを吸収してください。きっと、仕事に生かすことができます。

(特に全国的なレベルの研修会はお勧めです!!)

☆遊び心を忘れないで仕事をすること!

(仕事一筋は、長続きしません)

☆色々な人とつながりを持つこと。仕事以外の分野の人ともつながりを持ってください。人と出会い、話をすることで、色々な価値観を知ることができ自分の事を見つめ直すきっかけにもなります。

☆地域を変えることができるのは保健師です! 保健師の仕事は大変なことも多いけれど、楽しいですよ。仕事を好きになって下さいね。

職場の仲間からひとこと

八木さんは、とても温かい人で必要な時にはいつも、的確なアドバイスもして下さいます。以前、自分は『球』のように丸く深くありたいと言われた言葉がずっと印象に残っていますが、本当に『球』のような方です。

あとわずかで定年を迎えられますが、まだまだ、沢山のことを吸収させてもらいたいと思っています!

インタビューを終えて (インタビュアーの感想)

人との出会いやつながりをとっても大切にされているだけに、交友関係が広く、また常に前向きで好奇心旺盛な八木さん。

今回のインタビューで、今までの自分・これからの自分を見つめ直す良い機会になりました。短い時間で多くの事を語っていただき、ありがとうございました。

担当は、森岡(柳井支部)と村谷(県職能)でした。

看護師等の離職時届出制度説明会を行いました。

看護師等人材確保促進法が改正され10月1日から、保健師、助産師、看護師、准看護師は、病院等を離職した場合において、住所、氏名、などの情報を都道府県ナースセンターに届け出るよう努めなければならない届出義務が創設されました。また、病院などの開設者は、届出が適切に行われるよう支援しなければならないとされています。

そこで、山口県ナースセンターにおいても、届出制度が円滑に行われるよう病院や看護学校の皆様に協力をお願いするため、10月2日に説明会を開催いたしました。138施設161名の方にご参加いただき、ありがとうございました。参加されなかった施設の方には、資料を配布させていただきました。

不明な点がございましたら、ナースセンターやサテライト窓口で受け付けますので、お問い合わせください。



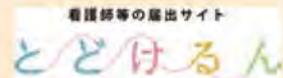
出席施設数

施設種別	出席施設数	出席者数
病院	95	117
訪問看護ステーション	12	12
老人保健施設	10	11
看護学校	17	17
その他施設	4	4
合計	138	161

離職された方は届出をお待ちしています。

平成27年10月1日以前に離職されている方も登録をお願いいたします。

登録は「とどけるん」のホームページから入ります。



(<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>) 12月10日現在の届出者数は、98名です。

パソコンやスマートフォンをお持ちでない方は、山口県ナースセンターにご連絡ください。届出票をお渡しします。それぞれの地域でも、届け出を受け付けております。サテライト相談窓口・ハローワーク相談窓口においでください。相談日は以下のとおりですので、ご確認ください。

届出をされた先着400名の方には、素敵なグッズをお送りします。

ハローワーク相談日

ハローワーク岩国	ハローワーク徳山	ハローワーク山口	ハローワーク宇部	ハローワーク萩	ハローワーク下関
毎月第4金曜日 10:00~16:00	毎月第3水曜日 10:00~16:00	毎月第1木曜日 10:00~16:00	毎月第3水曜日 10:00~16:00	毎月第2水曜日 10:00~16:00	毎月第3水曜日 10:00~16:00

サテライト相談日

岩国・柳井地域		周南地域	宇部・小野田地域	萩・長門地域	下関地域
岩国市福祉会館	アクティブやない	周南総合庁舎	ヒストリア宇部	萩市地域医療連携支援センター	下関市生涯学習プラザ
偶数月第3木曜日 10:00~15:00	奇数月第2木曜日 10:00~15:00	毎月第2木曜日 10:00~15:00	毎月第3月曜日 10:00~15:00	毎月第2木曜日 10:00~15:00	毎月第2木曜日 9:45~14:45

未就業看護職のつどい

自由に情報交換できる“場”で、
再就職について考えてみませんか？

- 日 時 平成28年2月3日（水） 13：30～（受付13：00～）
- 場 所 山口県看護研修会館（山口県看護協会）防府市大字上右田2686
- 対 象 看護職の免許所有者で看護業務についていない方
就業中で退職予定の方、再チャレンジ研修に興味のある方
- 参加料 無料
- 内 容 13：30～15：30 再チャレンジ研修参加者・コーディネーター（相談員）の話、
再就業に向けて情報交換
15：30～16：30 採血・静脈注射技術指導（希望者）
- 申込方法 郵送・FAX・電話（申込書は山口県看護協会ホームページからダウンロードできます。）
※お子様連れでも構いませんが、おやつを持参してください。
ご希望があれば、保育所の情報を提供します。



求人・求職のご相談は、山口県ナースセンター（無料職業紹介所）をご利用ください。

開館日 火曜日～土曜日（月曜日、日曜日、祝・祭日、年末年始は閉館）

相談日 火・水・金曜日

TEL 0835-24-5791

FAX 0835-28-9688

e-mail yamaguchi@nurse-center.net



eナースセンター（無料職業紹介サイト） <https://www.nurse-center.net/nccs/>

「相談支援センター」について

山口県看護協会は、平成19年4月から相談室を設置し、名称を変えながら平成24年度からは「相談支援センター」の名称で開設しています。

当初より理念は「ケアする人をケアする」を掲げています。「ケアする人のケア」とは、看護職の自律を尊重しながら、現状で起こっているあらゆることについて相談者とともに考え、問題を明確化し、わずかでも改善に取り組むことにより、その所属する組織全体の活性化につながる支援をめざしています。

目的は、看護協会という共通の場を通して、看護職に関する支援、研究支援、職場環境改善支援等を行い、看護職の福祉と資質の向上、魅力ある職場づくりを側面から支援することを挙げています。

「組織のあらゆる場所にいる人々も元気に」



*詳しくは、山口県看護協会ホームページをご覧ください。

相談支援センター

Tel：0835-24-3593

EX-ルアドレス：sodan@y-kango.or.jp



患者の個人情報取り扱いの基礎知識

「情報漏えい」とは、本来その情報を扱うことができない人に情報が伝わってしまうことです。組織内の、ひとりひとりが意識を持って対応しましょう。



◎個人情報漏えい防止対策、行っていますか？

対策

1. 個人情報は院外に持ち出さない

- 1) 患者情報、保管場所のドアの施錠
- 2) パソコンをチェーンなど持ち運べないように固定する
- 3) USBの取扱いを決める
- 4) LINE・Twitterでつぶやかない!



2. 電子カルテからの情報漏えいをなくす

- 1) 使用後は確実にログオフする
- 2) 他人のパスワードを使用しない
- 3) パスワードは定期的に変更する
- 4) 廊下・病室での取扱いを決める



3. 人が出入りする場所にカルテ、検査データなど放置しない

4. 不必要なコピーはしない

5. 患者情報を書いたメモ用紙は、シュレッターにかける

6. 患者情報の記載された書類をFAX送信するときは、誤送信に注意する



安全管理責任は、自己責任です。
施設のルールを確認し、守りましょう。



働き続けられる職場づくり推進事業



労働環境支援委員会は、平成27年度の活動目標である「看護職の確保・定着を考える」をテーマに、年4回、県内4カ所で研修会を開催しています。1回目を9月17日（木）に、2回目を10月22日（木）開催し、計121名の看護職の参加がありました。また、個別相談が2病院あり、認定看護管理者による丁寧なアドバイスが行われました。会員の皆様一人ひとりが職場環境の改善につとめ、生き生きと働き続けるその姿が、看護職の確保・定着につながります。1月28日（木）に、本年度最後の研修会を企画していますので、是非多くの皆様のご参加をお願いいたします。

研修会1 9月17日（木）長門市地域医療連携支援センター

講演1：「看護師の採用と定着を考える」

～ウェルカムパーティとポートフォリオの工夫～

青梅市立総合病院 看護局長 大西 潤子 氏

講演2：「アサーティブな人間関係で明るく働きやすい職場づくりを」

宇部西リハビリテーション病院 看護部長 長谷川 京子 氏

感想

講師の病院での取り組みを紹介していただきました。看護職の確保のために看護師・看護学生を対象に病院見学会とウェルカムパーティの実施、人材育成で定着に向けたポートフォリオの導入、明るい職場づくりに必要なアサーティブなコミュニケーションの作り方、自分の心に向き合い対人関係の問題を解決する方法等、職場環境を良くするためのヒントが沢山見つかりました。



研修会2 10月22日（木）ホテルサンルート徳山



講演1：ナースが笑顔で働ける仕組みをつくる

To Do Biz代表 看護職の採用と定着を考える会理事 篠塚 功 氏

◆事例発表

事例① 働き続けられる職場づくり 業務改善に対する変革

～応援体制の仕組みづくり～ 美祢市立病院 椿 直美 氏

事例② 手術機器の効果的な収納方法の検討

山口県立総合医療センター 手術部 長島 未来 氏

◆積極的に業務改善に取り組まれた2事例でした。



▲交流会 テーマ「私の職場の“ぶち自慢”」

自分の職場の良い点を見つけグループ内でディスカッションしました。自病院の自慢を話す皆さんの笑顔がとても印象的でした。どのグループも和やかな雰囲気です。

「自病院の魅力・いいところ」を改めて発見でき活発な交流会でした。



【労働環境支援委員会メンバー】



H27年度から労働環境支援委員会が発足しました。

WLB推進は看護職だけでなく、2025年問題も含め医療界の大きな重点課題です。地域の人々の健康を守るためにも働き続けられる職場環境づくりを実現させましょう！！



PNS導入による職場の変化

～看護を語り合う職場づくりを目指して～

教育担当看護師長 田中 康代



〔 ペアで指示を確認。
ケアや処置も二人で実施します。 〕

当院は、病床数530床を有し、地域の高度急性期医療を担う、岩国保健医療圏における中核病院です。「救命救急センター」「地域がん診療連携拠点病院」「地域災害拠点病院」「地域周産期母子センター」など各機能を活かし、地域の医療機関との連携を図りながら、職員が一丸となって医療の質の向上を目指しています。

看護部では、当院が担う政策医療を実践していくための、より専門的な看護実践能力が獲得できるよう看護師の育成を行っています。このような中、平成25年10月より、「看護の質の向上、学び合い育ちあう職場環境づくり」を目標に、看護方式を固定チームナーシングから

PNS®（パートナーシップ・ナーシング・システム）（以下PNS）に変更しました。平成26年9月より、PNS推進委員会を立ち上げ、「看護を語り合いながら看護実践するパートナーシップ」というキャッチフレーズを掲げ、パートナーシップマインドの醸成・本質が根付くことを課題に取り組んでいます。また、平成27年4月より全病棟でPNSを導入し、推進委員会が中心となって監査や交流会を行いPNS定着に向けて取り組んでいます。

看護実践の場においては、常に看護師二人がペアとなって看護することにより、タイムリーかつ安全な看護の提供に繋がっています。特に看護師が相談しながら看護を行うため、様々な視点で患者を捉え、より良い看護を考え提供することができます。また、看護の質の向上を目的に導入したPNSですが、看護師にとっても安心して看護できる環境となっています。特に新人や若いスタッフは、看護実践能力や患者との対応に不安を抱えていましたが、日々ペアと相談しながら看護を実践したり、先輩看護師の見守りのもと実施したりと安心した環境で看護を実践できるようになりました。その上、若い看護師は先輩看護師の看護を見て学び、先輩看護師は若い看護師と看護の場を共有し実践しながら指導を行うことができます。このことにより、新人看護師は、より確実な看護技術を身に着けることができ、看護実践能力の向上につながると考えます。



〔 2人でモニターチェック。
患者さんの異常がないかアセスメントします。 〕

現在は、マインドの育成が課題となっています。PNSでは特に患者だけでなく看護師とのコミュニケーションが重要となります。今年度よりマインドの醸成を行うために、全職員を対象にパートナーシップマインド研修をおこなっています。今後はスタッフの「自立・自助の心」「与える心」「複眼の心」と、パートナーシップに必要な3つの要素である「尊重」「信頼」「慮る」を育成し、PNSの定着を図るとともに、看護師が看護を語り合う職場になることを願っています。



〔 他のペアと業務調整中。補完体制で頑張ります。 〕

【パートナーシップとは?】 PNS (Partnership Nursing System)

福井大学医学部附属病院看護部が開発し、実践されている新しい看護提供体制です。安心・安全な看護を効率的に提供できるシステムとして注目を集めています。2人の看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的に、良きパートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、不十分な部分を補って、完全なものにする取り組みです。

協力し合って、毎日の看護ケアをはじめ委員会活動・病棟内の係の仕事に至るまで1年を通じて活動し、その成果と責任を共有する看護体制の事です。



【広報委員より】

今回、広報委員会でパートナーシップを取り上げた経緯は、看護職が働きやすい職場環境づくりを目指す、1つの方策としてパートナーシップという労働環境を改善するために生まれた看護界初の看護方式をご紹介します。

医療改革が行われている中、毎日の医療現場の忙しさは変わらず超過勤務も減らない状態です。その中でPNSを導入し働きやすい職場環境づくりを図っている病院を紹介して会員の皆様の参考となるよう今回の企画をいたしました。



支部

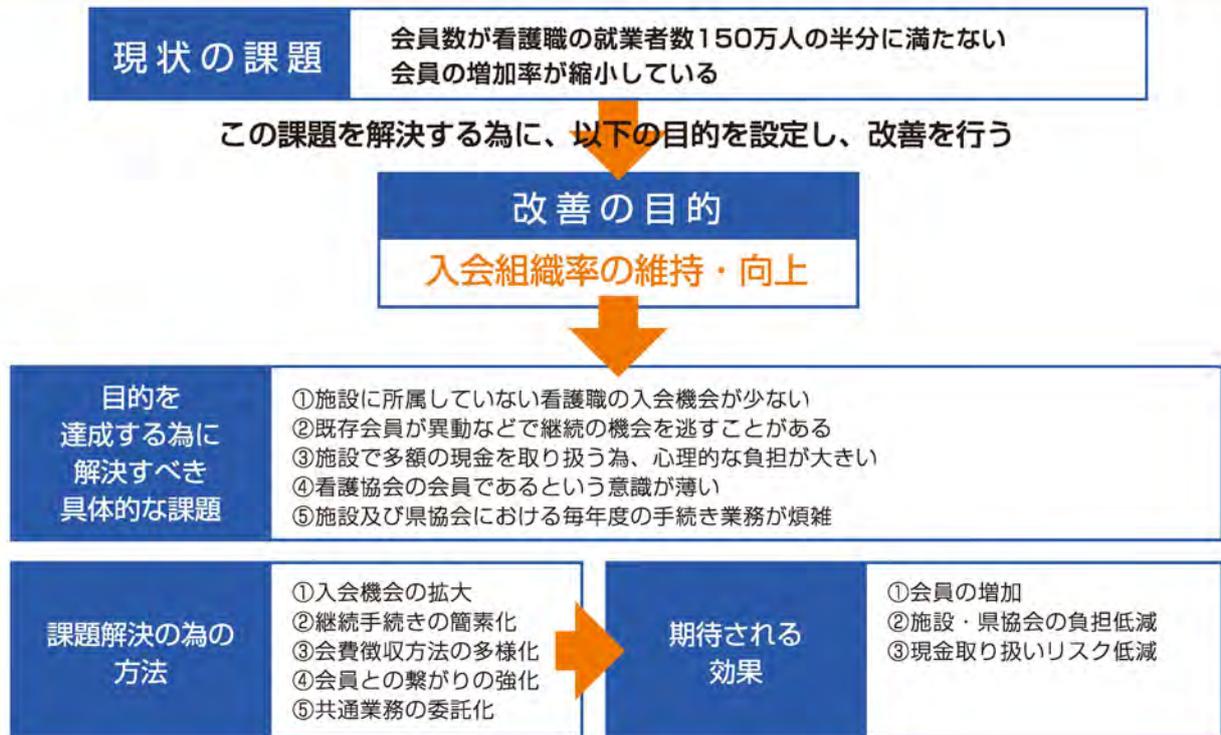
Information

支部名	月日(曜日)	時間	場所	行事(10月~12月) ※行事名、日時、場所等
岩国	2月13日(土)	10:00~14:30	ゆめタウン南岩国	まちの保健室 (物忘れ相談タッチパネル等)
柳井	1月16日(土)	10:00~12:00	ゆめタウン柳井	まちの保健室 (健康相談・血管年齢チェック等)
	2月20日(土)	10:00~12:00	ゆめタウン柳井	まちの保健室 (健康相談・血管年齢チェック等)
	3月19日(土)	10:00~12:00	ゆめタウン柳井	まちの保健室 (健康相談・血管年齢チェック等)
周南	2月6日(土)	13:30~16:00	徳山中央病院本館11階	看護研究発表会 山口大学大学院教授 田中 満由美先生
	2月14日(日)	10:00~15:00	サンリブ下松	まちの保健室
防府	1月17日(日)	10:00~14:30	ゆめタウン防府	まちの保健室
	2月21日(日)	10:00~14:30	ゆめタウン防府	まちの保健室
	2月27日(土)	13:30~15:30	看護研修会館	支部看護研究研修会
山口	1月31日(日)	13:00~16:30	ゆめタウン山口	まちの保健室
	2月27日(土)	14:00~16:00	山口県健康づくりセンター	教育委員会企画研修会「テーマ:認知症看護の基本について」
	2月28日(日)	13:00~16:30	ゆめタウン山口	まちの保健室
宇部	1月16日(土)	11:00~15:00	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	2月13日(土)	未定		支部看護研究発表会
	2月20日(土)	11:00~15:00	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	3月20日(日)	11:00~15:00	ゆめタウン宇部	まちの保健室
小野田	1月17日(日)	10:00~14:30	おのだサンパーク	まちの保健室
	2月13日(土)	9:00~12:00	山陽小野田市民病院	小野田支部看護研究発表会 講評:山口県立大学看護栄養学部看護科 中谷信江先生
	2月21日(日)	10:00~14:30	おのだサンパーク	まちの保健室
下関	3月20日(日)	10:00~15:00	サイサイ美東	まちの保健室
	1月9日(土)	13:30~16:00	ゆめシティ	まちの保健室
	2月6日(土)	13:30~16:00	調整中	第2回教育セミナー「テーマ:嚥下障害のある患者の嚥下」
	2月25日(木)	18:30~20:00	シーモール	嚥下訓練・嚥下評価(仮)
	3月5日(土)	13:30~16:00		まちの保健室

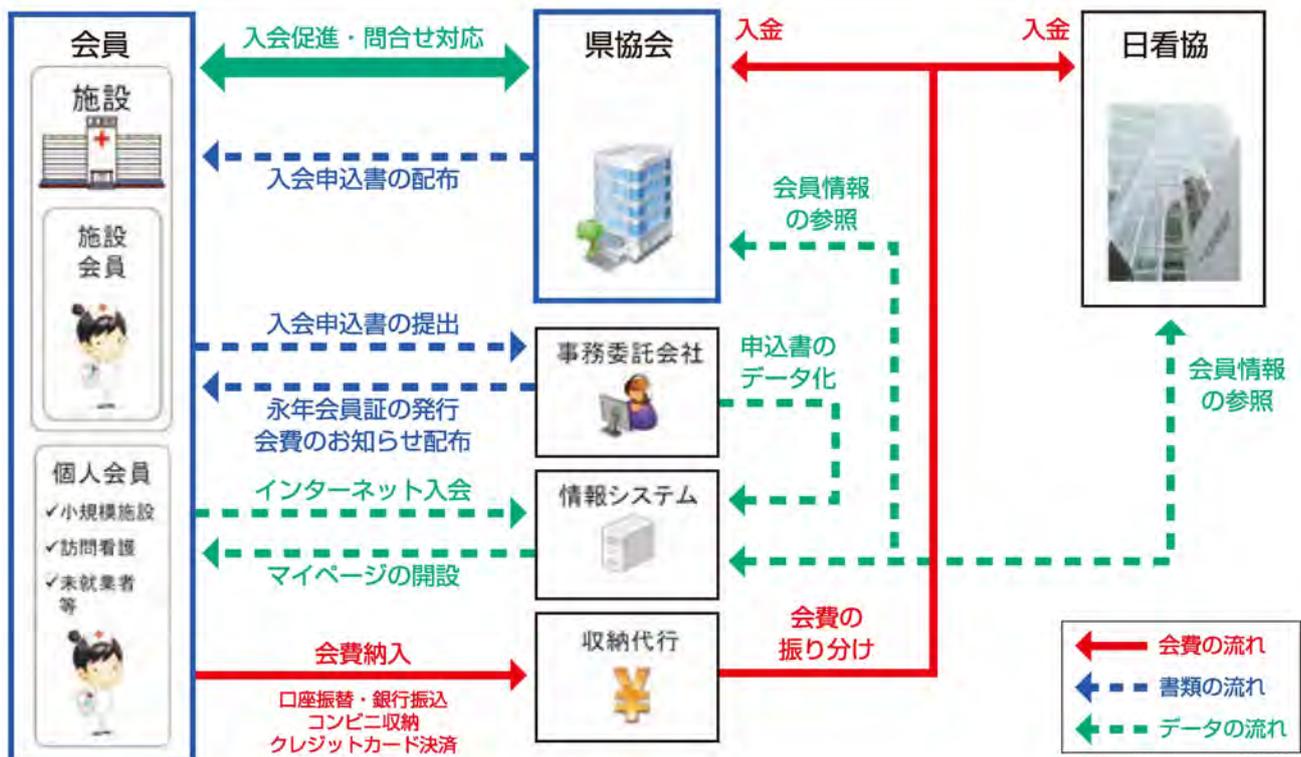
新「会員情報管理体制」について

平成29年度から「会員情報管理体制」が変わります。
 平成28年3月にその説明会を開催する予定です。
 2月の月はじめに案内を送付します。

1 【会員管理業務改善】改善の目的



2 【会員管理業務改善】改善の全体像



3 新体制の変更点

- 1) 会員証のリニューアル
会員証をプラスチックカードにリニューアル
- 2) 会員手続きの簡略化
- 3) 会費の支払いに口座引落しを導入
会員さん個人の口座からの引き落としが可能
これまで同様、施設ごとの取りまとめも可能
- 4) WEB上にマイページを開設



4 今後のスケジュール

- H27.11月下旬～ 平成28年度入会案内送付
入会手続き開始（従来どおり）
- H28. 4月頃～ 会員証配布（現行と同じもの）
- H28. 7月頃～ 新会員証及び平成29年度継続申請書
兼口座振替依頼書配布開始
- H28.10月～ マイページ開設
- H28.12月～ 会費とりまとめ施設の手続き開始
（従来と同じくらいの時期を予定）
- H29. 1月下旬 口座振替希望者の口座振替実施

※現段階でのスケジュール予定なので、変更となる場合があります

平成28年度のご入会について



本会では、教育と研鑽による専門性に基
づいた看護の質の向上をはかり、看護職が
誇りをもち安心して働き続けられる環境づ
くりを推進し、地域の人々のニーズに応える
看護領域の開発・展開を図っております。

山口県看護協会事業を発展させるため
には皆様方がひとりでも多く会員になっ
てくださることが必要です。

社会のニーズに応えられる看護をめざ
すために会員として入会しましょう!!!

現在、平成28年度の入会受付をして
おります。手続きは、なるべく早くお願
いいたします。

会費は一人 15,000円（日本看護協会
会費を含む）です。詳細については、
下記のとおりとなります。

1 新入会員 はじめて入会する方

年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

2 継続会員 平成27年度入会していた方

増築拠出金
または入会金を
完納

はい
年会費のみ 15,000円

いいえ
年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

3 再加入会員（山口県内） 以前入会していた方

増築拠出金
または入会金を
完納

はい
年会費のみ 15,000円

いいえ
年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

4 他県から加入会員 （山口県にはじめて入会する）

年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

5 他県から加入会員 （山口県に以前入会していたことがある）

以前増築拠出金
または入会金を
完納

はい
年会費のみ 15,000円

いいえ
年会費 + 入会金
15,000円 + 30,000円 = 45,000円

【その他】

- ・ 増築拠出金対象者の方は、入会金相当額の30,000円の納入をお願いします。
- ・ 30,000円に達していない方は、残金の納入をお願いします。
- ・ 他県にて平成28年度の入会手続きをされた方はお問合せください。
- ・ 他県から加入会員は入会金を減額できる場合がありますので、ご相談ください。



担当：総務課・早川

TEL 0835-24-5790/FAX 0835-24-1230 e-mail : hayakawa@y-kango.or.jp



「病院公認のクラブで職員間のコミュニケーションを！」

当院では病院公認のクラブ活動があります。その中で、今回は社交ダンスクラブについてご紹介させていただきます。

発足はH26年7月。毎月2回、ダンススタジオの先生の指導の下でレッスンに励んでおり、現在の部員数は15名となっております。当院の病院長を始めとして、看護師・薬剤師・栄養士・ケアマネージャー・MSW・事務職と、様々な職種で構成されております。年齢を問わないコミュニケーションづくりや健康増進、アンチエイジングを目的として活動しておりますが、日常の



院内お花見コンサート

業務だけではなかなか接点のない部署同士の交流があり、それも大きな魅力の一つとなっております。

日頃のレッスンの成果を、入院患者様に向けての院内イベントや、特別養護老人ホームでのボランティア演芸として披露をさせて頂くこともございます。



慰問活動

今後もクラブを通じて職員間の連携を促進し、医療の質への向上へも繋げていくことを一番の目標として活動をしていきます。

文責 後藤 泰裕(総務課)



表紙に寄せて

豊浦支部研修 平成27年10月10日
場所：豊浦病院 大会議室

豊浦支部は10月10日に皮膚・排泄ケア認定看護師による「スキントーケア脆弱な皮膚に対する対策」の研修を開催いたしました。

病院勤務者だけでなく、施設や訪問看護師等も参加し、脆弱な皮膚に対するケアの知識を深め、皮膚損傷による痛みからの解放と看護師のスキントーケア発生に伴う罪悪感からの軽減等多くの効果が期待される充実した研修でした。

平成27年度
山口県看護協会会員数

2015年12月11日現在

合計 9,894名
(加入率：42.8%)

保健師
466人

助産師
312人

看護師
8,390人

准看護師
726人

お知らせ

明けましておめでとうございます。平成28年度の入会がはじまりました。ご入会をお待ちしております。平成29年度から会員管理体制が変わります。今回のきらめきに情報を掲載しておりますので、ご覧ください。また、説明会を3月に開催する予定です。会報についてご意見等（掲載を希望される記事等）ございましたらご連絡ください。
TEL (0835) 24-5790 TEL (0835) 24-5790 E-mail: hayakawa@y-kango.or.jp (担当 総務課 早川)

編集後記

新年がはじまりました。きらめきもさらによりよい会報を目指します (近森、渡辺、益田)